○○学校野外活動行程表

H / /

平成　　年　月　日(　)～　日(　)：2泊3日

課題（企画書）

本校舎【 宝の都(くに)・大崎市】

別校舎【○○市・○○町】

大崎市は、宮城県北西部に位置する人口約１３万４千人の田園都市です。季節ごとの様々な農業体験、手作り体験、宿泊（民泊、温泉旅館）などを通じて、大崎市に訪れる生徒皆様との交流を官民一体で積極的に進めております。自然豊かで素朴な土地柄の大崎市で体験学習を実施致します。

宮城県知事　旅行業　第2-346　全国旅行業協会正会員
日直（企画）：一般社団法人 みやぎ大崎観光公社
担当：小浪・小浜
宮城県大崎市古川七日町３－１０醸室内・蔵１０
☎0229－25－9620

◆担任(後援):大崎市観光交流課

時間割(行程)

H / /

	コース　※利用バス会社:第一観光バス	食事
1	約60km(約70分)　約28km(約40分) 学校--①女川(震災語り部講和・マスカー「保冷庫」見学とお昼)--②鹿島台(トマト収穫体験)-- 8:00　9:10　12:20　13:00　14:20 約28km(約40分)　約45km(約60分) ---③蕪栗沼(生態系観察)---④鳴子温泉(仕事体験)---鳴子温泉(泊) 15:00　16:00　17:00～ ※宿泊先:	× 昼 (持参) 夕
2	約40km(約60分)　約20km(約40分)　約12km(約20分) 旅館---⑤古川(田植え体験)---⑥岩出山(ずんだ餅手作り体験と昼食)---⑦西古川(居久根 8:30　9:30　11:00　11:40　13:00　13:20 約31km(約45分) 講和とボランティア活動)---⑧鳴子温泉散策(ボランティアガイド案内)---鳴子温泉(泊) 15:00　15:50　16:50　17:00 ※宿泊先:	朝 昼 夕
3	約2km(約10分)　約6km(約15分)　約55km(約75分) 旅館---潟沼散策---⑨鳴子ダム(渓流散策と土木遺産と昼食)---⑩七つ森陶芸館(陶芸体験) 9:00　9:10　9:30　9:45　12:30　13:50　15:50 約25km(約40分) ---学校(解散)　※お疲れ様でした。 16:30	朝 昼 (弁当) ×

教科(体験学習プログラム)

H / /

♪①時限目【 震災語り部講和･マスカー(保冷庫)見学】･･ ･･･ ･･ P-4
♪②時限目【マルセンファーム･トマト収穫体験と農法説明】･････････P-5
♪③時限目【蕪栗沼･生態系観察と専門ガイド案内】･･･ ･ ･･････････P-6
♪④時限目【温泉旅館仕事体験･料理配膳など】･･････････････ ･･･P-7
♪⑤時限目【加藤様の田んぼで田植え体験】･････････ ･･･････････P-8
♪⑥時限目【旧千葉家住宅でずんだ餅手作り体験】････ ･････････ ･P-9
♪⑦時限目【居久根講和とボランティア活動】･･ ･ ･･ ･････････････P-10
♪⑧時限目【ボランティアガイドと鳴子温泉街散策】･･････ ･･･････ ･･P-11
♪⑨時限目【鳴子ダム(土木遺産)見学と渓流散策】････ ･････ ････P-12
♪⑩時限目【七つ森陶芸体験で陶芸:手こねコース】･･ ･ ･･ ･･ ････P-13

「1時限目」震災語り部講和とマスカー（冷凍冷蔵庫）見学

教室【女川町】教科担任：震災語り部&女川魚市場買取人協同組合

まちなか交流館

◆震災体験学習のポイント

・東日本大震災を風化させないこと。
・自分たちの町の防災などについて、もう一度再確認できるようになること。
・自分のふるさとの大切さなどを実感するきっかけとなること。
・当たり前の生活の大切さ、いのちの大切さに気がつくこと。

★視察先の関係で3班に分かれてローテーションで体験して頂きます。

①班：まちなか交流館（語り部）⇒シーパルピア女川（散策）⇒マスカー（見学）
②班：シーパルピア女川（散策）⇒マスカー（見学）⇒まちなか交流館（語り部）
③班：マスカー（見学）⇒まちなか交流館（語り部）⇒シーパルピア女川（散策）

※震災語り部の方に講和して頂きます。【約40分：パネル見学含め】

シーパルピア女川

※買い物や散策などで地元の人たちと触れ合いながら女川町の名物、自慢話を聞いてみる。
※震災当時の状況や復興の様子などを訪ねて防災に役立てる。【散策約30分～40分】

※マスカーは遠く中東の国、カタール政府からの震災支援で20億円の費用をかけて作られた最新の冷凍冷蔵庫施設です。通常は1階に冷凍冷蔵庫を設置しますが、震災対策として2階に冷凍冷蔵庫を設置し3階に避難場所を設けています。詳しい説明を管理している女川魚市場買取人協同組合の方にして頂きます【見学時間約30分】

マスカーとはカタール沿岸で使用されている伝統漁法の名前。

マスカー

「2時限目」トマト収穫体験と農法説明

教室【大崎市鹿島台】教科担任：有限会社マルセンファーム

※みやぎ大崎観光公社の正会員でもあります。

◆農作業体験学習のポイント

・農業が「命を育む産業」であること。
・自分たちのふるさとに農法に拘った栽培をしている人達がいること。
・体験する側、受け入れ側との交流で感動と元気が生まれること。
・地方農業の大切さに気がつくこと。

★体験先の関係で数班に分かれて体験して頂きます。

有限会マルセンファームについて

※食べられる"デリシャス"野菜づくりにこだわり、極上トマトやフルーティーなトマトジュース作りを行っています。
マルセンファーム自慢の「デリシャストマト」は、高糖度と酸味のバランスが絶妙なトマト。一般的なトマトの糖度が4から5なのに対し、マルセンファームのデリシャストマトは糖度が7度以上。トマト嫌いな方にも「フルーツ感覚で味わえる！」とご好評をいただいています。
この糖度の秘密は、節水栽培農法や長年培った土づくりの技術。その技術を支えるのは、宮城県で農業に携わりたいと熱い思いを持った地元のスタッフです。
ベテランスタッフと若いスタッフが毎日汗と土にまみれながら、お客様に「デリシャス！」と感動してもらえる野菜つくり。それがマルセンファームの願いです。

【トマト収穫体験および講和で約60分】

【トマトハウスイメージ】

「3時限目」蕪栗沼生態系観察と専門ガイド案内

教室【大崎市蕪栗】教科担任：特定非営利活動法人蕪栗ぬまっこくらぶ

※蕪栗ぬまっこくらぶ代表の戸島様は、みやぎ大崎観光公社の理事でもあります。

◆生態系観察学習のポイント

・自然とふれあいながら自然環境や生態系を学ぶこと。
・ラムサール条約湿地が郷土の宮城県大崎市にあること。
・天然記念物であるマガンの国内最大級の越冬地であること。
・数多くの動植物が生息していること。
★観察場所の関係で数班に分かれて体験して頂きます。

蕪栗沼について

※蕪栗沼は、宮城県北部の平野部にある、面積約150ha（1.5平方キロメートル）の低地性湿地です。周辺3つの水田とともに遊水地として整備されており、増水時に一時的に水を貯めることで周囲の家屋や水田を洪水から守っています。国の天然記念物に指定されているマガンの越冬地で、国内に飛来する半数の約7万羽が利用しており、国際的に重要な湿地を保護するラムサール条約に指定されています。**【生態系観察および専門ガイド案内で約60分】**

※これまでに約1500種の動植物が確認されています。鳥類約200種、魚類32種、昆虫約800種、植物約400種です。多くの渡り鳥の越冬地、中継地となっているため鳥類が多いのが特徴です。また低地性湿地に特有の希少種が多く見られます。

【大崎市イメージキャラクター】

【マガン】

【ヌマエビ】

【めだか】

「4時限目」温泉旅館仕事体験

教室【大崎市鳴子温泉】教科担任：旅館弁天閣・旅館すがわら

※旅館弁天閣、旅館すがわらとも、みやぎ大崎観光公社の理事でもあります。

◆仕事体験学習のポイント

・職業観を育むこと。
・旅館には様々な担当や仕事があること。
・自ら学び、考えて行動し主体的な判断をすることを養う。
・大きなホテルばかりではなく、中小の旅館も鳴子に多く存在することを知って欲しいこと。（多くが家族経営）

★体験施設の関係で2館に分かれて体験して頂きます。

♨鳴子温泉について♨

※鳴子温泉は鳴子温泉郷の中心部で、古くから“奥州三名湯”の一つに数えられています。5ヶ所の温泉地で最も大きく、近代的な宿泊施設や食事処、土産物店が賑やかな街並みを形成しています。「滝の湯」「早稲田桟敷湯」という2つの共同浴場は温泉街の“顔”です。

【仕事体験約40分】

【布団敷き】

【配膳】

【あいさつ】

【旅館：弁天閣】

【旅館：すがわら】

「5時限目」加藤様の田んぼで田植え体験

教室【大崎市古川敷玉】教科担任：加藤善一様

◆農作業体験学習のポイント

・田んぼへのフィールドワークを通し、農業に対する理解を高めること。
・農家の営みをしってもらい育てる苦労を感じ、安心してお米を食べられるのも農家の方々のおかげなのだと実感してもらうこと。
・農作業の現場に触れることにより、子供たち自ら主観的に行動すること。

★小雨でも実施致しますので合羽等の準備をお願い致します。

大崎市の米作りについて

※江合川と鳴瀬川の清らかな流れが、広大で肥沃な「大崎耕土」を潤し、その豊かな大地からササニシキやひとめぼれといったブランド米が大崎で誕生しました。
近年、消費者の安心・安全な農畜産物に対するニーズが高まる中で、田尻地域で環境保全米として脚光を浴びている「ふゆみずたんぼ米」、鳴子温泉地域のような山間地の農業が衰退する中で地域が支える米づくりから生まれた新品種「ゆきむすび」、そして、鹿島台地域の安全・安心なお米「シナイモツゴ郷の米」なども注目されています。みやぎ大崎には全国に自慢できるブランド米（宝）があります。

【田植え体験約90分】

【田植え体験イメージ】

「6時限目」旧千葉家住宅でずんだ餅手作り体験

教室【大崎市岩出山】教科担任：有限会社もちべえ

※有限会社もちべえ代表取締役は、みやぎ大崎観光公社の代表理事です。

◆手作り体験験学習のポイント

・みやぎの名物である「ずんだ餅」。自分たちで実際に枝豆を磨り潰し味付けをし、餅をからめて食べて頂きます。
・菓子職人による体験指導を行います。（餅付き体験もあり）
・旧千葉家住宅で昔の農家の暮らしぶりを体感すること。
★6～8名のグループに分かれて体験して頂きます。

旧千葉家住宅について

※大崎市岩出山地区にある、旧千葉家住宅は江戸時代には肝煎（庄屋）に次ぐ有力農家でした。住宅は明治21年に建てられ築約140年になります。明治43年に水害で裏山が土砂崩れを起こした為、現在地に移転しておりますが、後方の一段高い所に建っていたので「上の家」とも呼ばれておりました。旧千葉家住宅は用材の自然な美しさを無駄なく活かして建築されており、戸の口から足を踏み入れると板の間や杉の戸が鈍い光を放ち、囲炉裏が懐かしいふるさとのように出迎えてくれます。

【ずんだ餅手作り体験と昼食約80分】

【昼食イメージ（餅）】

【餅付き体験もします】

旧千葉家住宅

菓子職人が指導します！

ずんだ餅

【ずんだ餅手作り体験設定イメージ】

「7時限目」居久根の講和とボランティア活動

教室【大崎市古川渋井】教科担任：親川麗子様（自然観察指導員）

◆体験学習のポイント

・減少している居久根を実際に見て講和（親川様）を聞き存在を知ってもらうこと。
・宮城県には日本農業遺産認定地があり、あわせて世界農業遺産を知ってもらう。
・自然と共存し知恵を出して暮らしてきた先人を知ること。
・ボランティア活動を通じ、現代社会において居久根維持の苦労を知ること。

★居久根ボランティア活動を予定しております。3班に分かれて地域の居久根住宅にお伺いし、落ち葉拾いや草取り、枝拾いなどの軽作業をして頂き居久根の管理を学んで頂きながら、高齢者宅が多いのでボランティア活動の一環としても取り組んで頂ければと考えております。
注）帽子、軍手、タオルなどの準備をお願い致します。

仙台平野独特の屋敷林！居久根について

※居久根とは、宮城県を中心にした屋敷林の呼称です。伊達政宗公が、防風、天災や飢饉に備えて、杉やケヤキ果樹や実のなる木の植林を奨励したことから、仙台平野にこうした居久根が広まったといいます。
昔から途絶えることなく続けられてきた大崎耕土の農業の営みや農村の伝統文化、豊かな生物多様性などを未来に残し、伝えるべき大切な農業システムとして「世界農業遺産認定を大崎市は目指しています。世界農業遺産とは何か、大崎耕土の農業農村の宝（居久根など）とは何かを生徒皆さんと共に認識して頂けばと思います。

【居久根講和とボランティア活動約80分】

【標準的な居久根の配置】

「8時限目」鳴子温泉街ボランティアガイドと散策

教室【大崎市鳴子温泉】教科担任：鳴子温泉郷ボランティアガイドの会

◆体験学習のポイント

・みやぎ大崎市には全国に誇れる名湯があること。
・湯治文化を知ること。
・案内を通じて地元ガイドの方々との交流を図ること。（ガイドは年配の方々です）

★10名程度のグループに分かれてガイドと散策します。

♨鳴子温泉郷について♨

※鳴子温泉郷は1000年を超える歴史を持っています。温泉の発見は承和4（837）年。鳥谷ヶ森（鳴子火山）が大爆発し、熱湯が噴出したといわれ、一説には、そのときの轟音から村人が「鳴郷の湯」と名づけたとも伝えられています。
源義経が兄・頼朝に追われて平泉へ落ちのびる途中に鳴子を訪れたことや、松尾芭蕉が「おくのほそ道」で鳴子から尿前を通る出羽街道中山越えを選んだことも知られており、義経や芭蕉にちなんだ名所旧跡や古道なども数多く残されています。
鳴子温泉郷にある源泉の数は400本近くに及び、多くの宿が敷地内に自家源泉を持っています。
湧出するお湯の量も豊富で、源泉かけ流しの風呂が多いのも魅力。
そしてなんと、日本にある11の泉質のうち、9種類がここ鳴子温泉郷に集まっているのです。
昔から東北の湯治場として知られており、温泉の効能や泉質の良さには定評があります。

【ボランティアガイドと散策約50分】

【鳴子温泉街】

【鳴子温泉足湯】

【温泉神社】

「9時限目」土木遺産鳴子ダム見学と渓流散策

教室【大崎市鳴子温泉】教科担任：鳴子ダム管理所

◆社会科見学のポイント

・「ダム」という名前は誰もが知っていますが、ダムについてよく知っている人は実際そう多くはいないのではないでしょうか。鳴子ダムのさまざまな情報を知り、学び、よりよい私たちの暮らしについてじっくり考えてみましょう。
・鳴子ダムが土木遺産に認定されたことを知っていますか？土木遺産とは？
・普段は立入禁止のダム下へ渓流散策しながら見学。更にダムの説明を鳴子ダム管理所職員よりして頂きます。

★記念として鳴子ダム管理所よりダムカードが頂けます。

【ダム下まで行き見学：ダム高94.5m】

鳴子ダム（土木遺産）について

※大崎市鳴子にある鳴子ダム。建設省が江合川につくったこのダムは、洪水に備えたり、田畑を潤したり、電気をおこしたり、たくさんの目的のためにつくられたダムです。昭和27年から工事がはじまり、約6年かけて昭和32年10月に完成しました。鳴子ダムは、東北で初めてのアーチダムです。そして日本で初めて、日本人だけでつくったダムとして有名です。それまで日本でダムをつくる時は、外国から技 術者を呼んで、設計する時や工事をする時に、いろいろと指導してもらっていたのです。それだけに鳴子ダムの建設には、全国から優れた日本人技術者を集め、考えを出しあってつくりました。

【江合川散策と鳴子ダム見学約70分】

【渓流沿いを散策しながらダムへ向かいます】

【ダムが出来る前は大洪水被害を受けた】

「10時限目」七つ森陶芸体験館で陶芸（手ひねりコース）

教室【大和町】教科担任：七つ森陶芸体験館講師

◆文化体験学習のポイント

・物作りの原点の一つでもある伝統的な陶芸を学ぶこと。
・陶芸を通じて物作りの創造性、感受性を育てること。
・野外学習の想い出の品として世界にひとつの作品を残します。
★作品は当日、お渡し出来ないので後日、学校に送付致します。

七つ森陶芸館について

※仙台屏風と言われる“七ツ森”にある「台ヶ森焼」の施設。周辺の産土を使い、昇炎・倒炎・トッチ・穴窯・登り窯・ガス窯・電気窯の七種類の窯があります。体験時間は約2時間。作成→窯見学→質問コーナーの形で行います。作るだけではなく「土はなぜ焼くと堅くなるの？」などの陶芸の不思議を知ることもできます。

【陶芸：手ひねりコース約120分】